

第2回 横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和8年3月27日（金） 午前10時00分から午前11時30分まで
開 催 場 所	緑区役所4階4A・4B会議室
出 席 者	【選定委員会委員】 委員長 村井 祐一（田園調布学園大学副学長） 委員 太田 さおり（緑区地域子育て支援拠点「いっぽサテライト」施設長） 木村 赳（鴨居地域ケアプラザ運営協議会会長） 須田 亜木（税理士） 西川 克美（緑区民生委員児童委員協議会副会長） 原田 ますみ（緑区保健活動推進委員会会長） 三宅 智之（みどり地域活動ホーム「あおぞら」施設長） 【事務局】 緑区福祉保健センター長 安達 恒介 緑区福祉保健センター担当部長 武 規和 緑区福祉保健課長 森下 太幹 緑区福祉保健課事業企画担当係長 橋本 恵美子 緑区福祉保健課事業企画担当 河原 龍也、上村 香仲美
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（「議題5 面接審査（応募団体の面接審査）」、「6 審議（指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）及び次点候補者の選定、講評）」については、非公開）（傍聴者0人）
議 題	1 応募状況・審査方法について 2 最低制限基準点について 3 本市重要政策への対応状況による評価及び事業実績評価について 4 財務評価について 5 面接審査 6 審議
決 定 事 項	指定管理者の候補者として、次のとおり、横浜市緑区長に報告することとする。 横浜市鴨居地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 清光会 次点候補者：なし
議 事	<u>0 開会</u> 委員長から、定数確認及び第1回委員会で決定した会議の公開・非公開について確認を行った。 <u>1 応募状況・審査方法について</u>

	(事務局) 公募の結果、各施設 1 団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の 2 点について確認した。 ○応募団体の資格要件等について ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。 ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 ○審査方法について ・面接審査のプレゼンテーション・質疑応答の所要時間、審査方法及び集計方法について流れの確認 <u>2 最低制限基準点について</u> (事務局) 第 1 回委員会で決定した最低制限基準点について確認 ・一定の委員数（6 人以上）が確保される場合 最高点及び最低点をつけた委員を除く残りの委員の「評価項目 1 ～ 6 の総合計点の 60%」 <u>3 本市重要政策への対応状況による評価及び事業実績評価について</u> (事務局) 第 1 回委員会で確認した本市重要政策の対応状況による評価及び事業実績評価について確認 <u>4 財務評価について</u> (事務局) 財務評価について、第 1 回委員会で決定した評価方法について確認 ・財務状況の評価は、選定委員のうち財務に関する有識者は、健康福祉局による外部評価の結果を参考にして評価を行い、その評価結果及びその評価を付けた理由を選定委員会で共有し、財務に関する有識者以外の選定委員は、その評価結果及びその評価を付けた理由を参考にして、各自評価を実施する。 <u>5 応募団体の面接審査</u> (1) 面接審査 ア 横浜市鴨居地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答
--	--

	(委員) 年々、地域包括支援センターの訪問件数が増えており、特に令和6年度の件数が多いが、どのような要因が考えられるか。 (法人) 年々訪問しないといけない件数は増えてきている。令和6年度が特出しているわけではなく、令和7年度についても最終的には令和6年度を超える見込み。 (委員) 移動販売にて、「地区内のスーパーが撤退」と資料にあるが、新しい買い物送迎支援とは、タクシーのような送迎支援を想定しているか。 (法人) 買い物送迎支援については、来年度から実施することを想定している。利用者に会員になってもらい、一部費用負担をしてもらう予定。 (委員) 先ほども話が出ていたが、年々相談件数は増えていると思う。プレゼンテーションの中で、ケアマネジャーの人数も増えているとあったが、もっと増やした方が良いのではないか。 (法人) 今後、増やしていきたいと法人としても考えているが、採用が難しい状況。所内の配置も併せて検討する必要がある。引き続き、採用活動にも力を入れていきたい。 (委員) 財務状況について、法人として収入も増えてきているが、一方で支出も増えている。特に人件費が増えているように見受けられるが、最低賃金の上昇などの要因もあるなかで、法人として考えている主な要因を教えてほしい。 (法人) いろいろな要因が挙げられる。特別養護老人ホームを設立したことにより、新規職員を配置した。採用の競争力としても、賃金水準を上げないといけない状態。根底にあるのは物価高騰等だが、人件費を上げる事で採用につながるように法人としても対応している。 (委員) 今後、大きな修繕や設備投資の予定はあるか。 (法人) 今年度、新規施設の建設や4年前に別施設で大規模修繕を実施したが、現時点で今後の計画は特段無い。 (委員) 8050問題に関して、80歳代の家族の相談が増えている。成人している方がいて、それに向けての多職種・異職種の今後の協働や展望があれば教えてほしい。 (法人) そういった相談件数は増えてきている。みどり地域活動ホームと
--	--

	も協働して取り組んでいきたい。次年度、就労支援が終わった後の成人している方の居場所として、ケアプラザの場を活かした新しい事業の実施を検討している。 (委員) そういった方の居場所ができれば、次はその方たちの出番を創出してほしい。 (委員) 新しく転入してきた子育て世代等に向けて、今後ケアプラザとして、何か取組があれば教えてほしい。 (法人) 新しく転入してくる方は、地域情報について分からない方が多いと思う。そういった方達に向けて、ブログやLINE を利用し、情報の発信をしていく。また、ケアプラザでは、「父の日」、「母の日」等を利用したイベントを実施している。まずはそういったイベントに参加してもらうことをきっかけに繋がっていききたい。 (委員) GP ホール・デイサービス等、現法人が管理している施設があると思うが、仮に指定管理者が別の法人になった場合、どのように対応する想定か。 (法人) 現在の運営方法は変えないといけませんが、本部が窓口となり、管理を進めていく。指定管理者が別法人になった場合の GP ホールの利用方法は、きちんと検討していく。 (委員) 地域ケア会議に力を入れているとのことだったが、会議の方向性と成果を教えてほしい。 (法人) 今年度は、夏の異常気象・暑さに重きを置き、熱中症対策等、地域に向けて周知している。地域の方にノウハウを伝授するだけでなく、周知に対する効果測定を行った。その結果を踏まえて取組をブラッシュアップして、次年度につなげていく。 (委員) 介護予防事業について、効果を高めるために自主的に研究進めていくことが重要かと思うが、どう対応しているのか。 (法人) 法人として、医療系の法人であるため、病院で実施した講座を企画・開催し、ノウハウを蓄積している。直近では、地域にある病院と連携して、脳梗塞をテーマに講座を実施した。蓄積したノウハウを地域に還元している。 (委員) ブログなど広報にも尽力いただいているかと思うが、成果についてどのように測定しているか。 (法人) 高齢者を対象とした事業の参加者が多いため、紙媒体中心だが、
--	---

参加率などの数値を基に検証している。

(委員) こども食堂を実施されているが、地域への効果等を教えてほしい。

(法人) 7年間実施している。当初は、生活にハンディキャップがある層が対象だったが、近年、安価に食事ができるということで参加している方も一定数いる。利用数が増えている一方で、民生委員の負担も増えてしまっている。そのため、当初の目的に沿って、利用者への面接を行い、必要性を検証し、次年度は本当に支援が必要な方に対して支援を実施できるようにする予定。

(委員) 懸念としては、貧困家庭の炙り出しに繋がることが挙げられる。色々な世代が参加できる柔軟性は必要。地域の居場所とするのか、貧困世帯対象の居場所とするのか、地域と地域特性に合わせた支援方針を引き続き検討してほしい。

(委員) 地域ケアプラザとして、様々な機関・団体と連携していると思うが、もっとも連携していると感じる団体はどこか。

(法人) 指定管理部門だと、民生委員児童委員との連携が重要だと感じている。実際に情報共有をしっかりと行い、連携が取れている。鴨居エリアは、3地区あるが、定例会にも参加し、関係性を築いている。

(ウ) 財務状況評価、前期実績報告書の説明

須田委員より財務分析結果報告書について説明。

事務局より前期実績報告書について説明。

6 審議（指定候補者及び次点候補者の選定、講評）

応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

横浜市鴨居地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 清光会	1,041／1,675 点	1,021／870 点
次点候補者	なし	-	-

(審査講評)

- ・職員の離職者が少ないということは、職場環境が良いということ。様々な事業を工夫して実施できているので、引き続き取り組んでほしい。

	・普段から親身になって対応いただいていると評価している。今後、相談の件数も増加する一方だと思うので、職員体制の確保に尽力いただきたい。 ・法人として、ニーズをとらえて、職員体制や環境を整えており、安定していると評価している。障害の分野に対しても、居場所づくりや事業を、引き続き実施してほしい。 ・提出資料からみても、普段から地域に密接して、連携しながら取り組むことができていると評価できる。 ・関係機関として、普段から関わっているが、窓口も丁寧な対応である印象。相談件数が増えているのは、そういった相談のし易さがあることではないか。地域との繋がりを大事にしている。 ・団体として、普段から地域ケアプラザと交流している。様々な事業を実施しているが、地域としては、当たり前のことである。引き続き頑張してほしい。 ・プレゼンテーションでの発表以上に色々な事業を実施していると思う。データを基に説明するだけでなく、地域への思いを聞けるとより良かった。ケアプラザが地域をどう見ているかをもう少し聞けると良かった。一方で、自主事業については工夫して実施されていると評価している。 地域ケア会議の回数は、まだ足りないと思う。もっと増やして実施してほしい。熱中症よりも色々なニーズがあるのではないか。全体を通しては、一生懸命やっていると評価した。 応募団体の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人 清光会を指定候補者として選定することを決定する。
資 料 ・ 特 記 事 項	1 資料 (1) 横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会委員名簿 (2) 横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱 (3) 横浜市緑区地域ケアプラザの指定管理者の候補者の選定等に関する要綱 (4) 令和7年度第1回選定委員会議事録 (5) 令和7年度第2回委員会タイムスケジュール (6) 最低基準点の設定について (7) 前期の指定管理業務の実績報告書 (8) 事業実績評価・第三者評価結果 (9) 財務分析結果報告書 2 特記事項 特になし